



全国造園デザインコンクール国土交通大臣賞受賞

はしや
梶谷 ほのかさん

Profile

2007年藤岡市生まれ。群馬県立藤岡北高等学校3年生。第51回全国造園デザインコンクールで最優秀特別賞の国土交通大臣賞を受賞。

目指すは2年連続受賞！

過

去最多の応募の中から全国造園デザインコンクールの街区公園部門で、全国第1位となる最優秀特別賞の国土交通大臣賞を受賞した梶谷さん。「人賞したい気持ちはありませんが、国土交通大臣賞をもらえるとは思っていませんでした。喜びよりも驚きが大きかった」と笑顔で話します。

3人きょうだいの梶谷さんは、幼少期は絵を描いて遊ぶなどおとなしい子だったそう。「小さい時から絵を描くことは大好きで、中学は美術部に入部しました。普段は風景画をメインで描いています。最近では人物画にも挑戦しています」と語り、プライベートの時間でも暇を見つけては絵を描いているそうです。

現在は、群馬県立藤岡北高等学校のガーデニングコースに所属し、庭園管理に関する技術の習得や造園施工などの資格取得の勉強をしています。また、部活動はガーデニング研究部で日々活動しており、市内の公園の課題解決に向け調査研究をしています。「今の公園を取り巻く環境は、地域とのつながりの希薄化や管理費不足などさま

ざまな課題を抱えています」と話す梶谷さん。その課題をデザイン技術で解決し、理想の公園を表現する場として、また大好きな絵や、コースで学んだ造園の知識・技術を試す場として、コンクールに応募しました。

1年生の時には、住宅庭園部門でコンクールに応募しましたが、賞を取れず落選してしまいました。「同級生で賞を受賞した子がいたのでもっと頑張ろうと思いました」と当時のことを振り返ります。作品の制作は約300時間かかるとのこと、友人や先生との意見交換を経て締め切り直前まで手直しをするそうです。

今年開催されるコンクールにも応募する予定で、「具体的なイメージはまだ決まっています。1年生の時のコンセプトが『染める』で家や人、出来事を染めていく内容でした。次回も、『染める』内容で住宅庭園部門に応募し自分の実力を試したいです」と今年の挑戦に意欲を燃やしています。

目指すは学校初となる国土交通大臣賞の2年連続受賞。梶谷さんの今後の活躍が期待されます。